

科目名	Advanced Studies in Epidemiology and Preventive Medicine	授業形態	講義(主)・演習(併用)
日本語科目名	疫学・予防医学特論	開講学期	後期
対象学年	1年次	単位数	2単位
代表教員	白山 芳久	ナンバリング	SOM502
担当教員	白山 芳久, 岡本 美代子		
授業概要			
全体内容	<p>この講義では、修士課程の学生が修士論文研究のための統計データ解析を実施できるようにする。具体的には、疫学・統計の基礎的事項を確認した上で、統計分析ソフト Stata を用いた記述統計・分析的統計について学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 記述データの集計, グラフ化, 要約を行う 2. 連続データとカテゴリデータで基本的な統計分析を実行する 3. 仮説検定を理解し, 推論分析を行う 4. 統計ソフトウェアパッケージに精通し, 効率的に使用する 5. データの入力, データの管理, データ分析の準備のためのデータのコーディングを行う 6. 多変量分析を理解する 		
到達目標	<p>(1) 疾病と疾病の決定要因(Social Determinants of Health: SDH)との関連について, 実在するデータの解析を通して, より深く理解できるようになる。</p> <p>(2) 自身の修士論文研究に加えて, 公衆衛生プロジェクト及び様々な研究分野の量的データのアナリストになれる能力を身につける。</p>		
授業の位置づけ	専門科目 (グローバルヘルスサービス領域), 選択科目		
ディプロマ・ポリシー, コンピテンシーとの関連	ディプロマ・ポリシーのうち, 「知識と理解 (DP1)」 「知識と理解の活用 (DP2)」 「判断力 (DP3)」 に関連している。		
履修上の注意, 履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生が, 自身で PC や必要なソフトウェア (統計解析ソフトウェア Stata *国内ではライトストーン社が販売) を準備する必要がある。ライセンス形態の詳細や購入予算などについては, 講義の中で担当教員らと相談の上で決める。 ・統計データ分析のためのファイルとコマンドは, 講師が提供したものをを用いるため, 各自で分析データを事前に用意する必要は無い。 ・この科目の主たる使用言語は英語である。授業中の使用言語を英語とし, 試験も特段の指示がない限り英語で解答を求める。 		
成績評価の方法			
評価方法	定期試験 (90%), 授業参加度 (10%) として評価する。		
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験: 定期試験により到達目標である「疾病と疾病の決定要因の理解」と「量的データのアナリスト能力」を測る。 		

		・授業参加度：授業中の質問，個人・共同作業，意見交換，議論，発表を評価する。		
試験・課題等に対するフィードバック方法				
試験結果のフィードバックは，返却時に行う。				
テキスト				
臨床研究のための Stata マニュアル第 3 版. 東 尚弘 (著)，中村 文明 (著)，杉岡 隆 (著)，山本 洋介 (著) 特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構				
参考文献				
An Introduction to Stata for Health Researchers. SVEND JUUL. StataPress				
その他				
連絡先・オフィスアワー		連絡先：白山 芳久 (shirayam@juntendo.ac.jp)，内線 2995 オフィスアワー：(平日) 13:00~17:00		
担当教員の実務経験		JICA 専門家(保健分野)や，特別職国家公務員(国会の政策立案及び立法活動の補佐)等として実務経験を 5 年以上有する。		
備考		学修時間の割当：講義 (60%)，演習 (40%)		
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	白山 芳久	データ分析のオリエンテーションと概要	講義	【予習】テキストの該当部分を読んでおく (120 分)。 【復習】授業のポイントを自分でノートにまとめる (120 分)。
2	白山 芳久	Stata の紹介	講義	【予習】テキストの該当部分を読んでおく (120 分)。 【復習】授業のポイントを自分でノートにまとめる (120 分)。
3	白山 芳久	Stata でのコーディングとデータ・セットの管理	講義，PC を用いたハンズオン学習	【予習】テキストの該当部分を読んでおく (120 分)。 【復習】授業のポイントを自分でノートにまとめる (120 分)。
4	白山 芳久	変数の頻度，分布，および性質	講義，PC を用いたハンズオン学習	【予習】テキストの該当部分を読んでおく (120 分)。

				【復習】授業のポイントを自分でノートにまとめる (120分)。
5	白山 芳久	t 検定	講義, PC を用いた ハンズオン学習	【予習】テキストの該当部分を読んでおく (120分)。 【復習】授業のポイントを自分でノートにまとめる (120分)。
6	白山 芳久	カイ二乗検定	講義, PC を用いた ハンズオン学習	【予習】テキストの該当部分を読んでおく (120分)。 【復習】授業のポイントを自分でノートにまとめる (120分)。
7	白山 芳久	分散分析	講義, PC を用いた ハンズオン学習	【予習】テキストの該当部分を読んでおく (120分)。 【復習】授業のポイントを自分でノートにまとめる (120分)。
8	白山 芳久	線形回帰	講義, PC を用いた ハンズオン学習	【予習】テキストの該当部分を読んでおく (120分)。 【復習】授業のポイントを自分でノートにまとめる (120分)。
9	白山 芳久	ロジスティック回帰分析	講義, PC を用いた ハンズオン学習	【予習】テキストの該当部分を読んでおく (120分)。 【復習】授業のポイントを自分でノートにまとめる (120分)。
10	白山 芳久	多変量ロジスティック回帰分析	講義, PC を用いた ハンズオン学習	【予習】テキストの該当部分を読んでおく (120分)。 【復習】授業のポイントを自分でノートにまとめる (120分)。
11	白山 芳久	振り返り・まとめ	講義, PC を用いた	【予習】定期試験に備

			ハンズオン学習	えてこれまでのノートをよく確認する(120分)。 【復習】ここまでの講義の内容で、理解が足りていなかった部分のポイントを自分でノートにまとめる(120分)。
12	白山 芳久 岡本 美代子	個別指導(1)	講義, PC を用いたハンズオン学習	【予習】分析の操作手順について自分なりに考えておく(120分)。 【復習】授業のポイントを自分でノートにまとめる(120分)。
13	白山 芳久 岡本 美代子	個別指導(2)	講義, PC を用いたハンズオン学習	【予習】分析の操作手順について自分なりに考えておく(120分)。 【復習】授業のポイントを自分でノートにまとめる(120分)。
14	白山 芳久 岡本 美代子	個別指導(3)	講義, PC を用いたハンズオン学習	【予習】分析の操作手順について自分なりに考えておく(120分)。 【復習】授業のポイントを自分でノートにまとめる(120分)。
15	白山 芳久 岡本 美代子	個別指導(4)	講義, PC を用いたハンズオン学習	【予習】分析の操作手順について自分なりに考えておく(120分)。 【復習】授業のポイントを自分でノートにまとめる(120分)。

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL, 反転授業, グループワーク, 討議, 発表等)